

件名	多摩都市モノレールまちづくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
69,788		0	0	0	1,703	68,085

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 243、248 ページ

多摩都市モノレール町田方面延伸の事業化に向けて、東京都や多摩都市モノレール株式会社との調整を進めるとともに、モノレール延伸の効果を最大限発揮するためのモノレール沿線まちづくりを進めていきます。また、「町田市都市づくりのマスタープラン」で掲げる暮らしとまちのビジョン実現に向けて、モノレール沿線の木曾山崎団地地区、忠生・北部エリアのまちづくりを具体化していきます。

【事業の内容】

- ①2024年3月に策定する「モノレール沿線まちづくり構想」に基づき、沿線地域のまちづくりの事業化に向けた検討を進めます。
- ②モノレール沿線の木曾山崎団地地区では、「住宅地を多機能化する」ことを目指して、2013年7月に策定した「町田市木曾山崎団地地区まちづくり構想」を、モノレール延伸を視野に入れたまちづくり構想に改定します。そのため、地区の住民や事業者から意見を聴くワークショップなどを開催します。
- ③モノレール沿線の忠生・北部エリアでは、「みどりと暮らしの関係をつくる」ことを目指して、公園、緑地、農地、里山などのみどり空間を活用するための官民連携組織の運営支援と持続化の検討を進めます。
- ④モノレール新駅周辺の基盤整備等に向けて、基金を計画的に積立てます。

【スケジュール】

2024年度	2025年度	2026年度
【モノレール沿線まちづくり】		
①モノレール沿線まちづくり構想に基づく事業化の検討		
【木曾山崎団地地区】		
②構想改定		事業化検討
【忠生・北部エリア】		
③官民連携組織の運営支援		事業化検討
【多摩都市モノレール基金】		
④基金積立		

【主な事業費】

- ①モノレール沿線まちづくり 9,000 千円
事業化検討委託料
- ②木曾山崎団地地区まちづくり 4,000 千円
構想案検討支援業務委託料
- ③みどり活用官民連携組織 5,055 千円
運営支援等業務委託料
- ④多摩都市モノレール基金 51,703 千円
積立金

【特定財源】

- ④多摩都市モノレール基金 1,703 千円
積立金利子



問合せ先	都市づくり部	都市政策課モノレールまちづくり推進室長 柘植野	電話	724-4077
	都市づくり部	公園緑地課長 新		724-4397

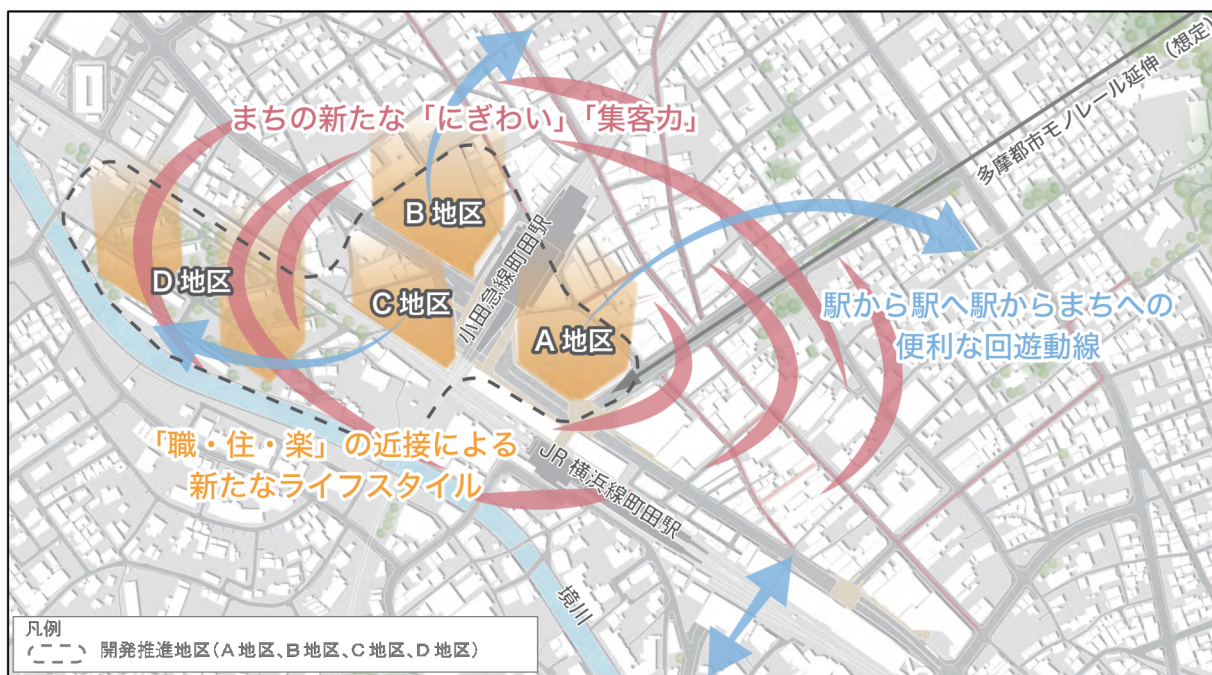
件名	中心市街地開発推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
103,827		0	0	0	440	103,387

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 245 ページ

「商都まちだ」と呼ばれ、商業の賑わいで多くの人を惹きつけてきた町田駅周辺は、駅周辺施設の老朽化とそれに伴うまちづくりの機運の高まり、そして多摩都市モノレール町田方面延伸という大きな環境変化が目前に迫り、今、大規模なりニューアルの時期を迎えています。

これからも多くの人々に“町田に行こう、町田で集まろう”と思ってもらえるようなまちであり続けるために、これまで培ってきた町田らしい商業の賑わいに“誰かと一緒に楽しむ・体験する”といった新しい賑わいを加えることで、これからも賑わいと交流が生まれ続けるまちづくりを目指していきます。



開発によってまちにもたらす効果のイメージ図

<まちの新たな「にぎわい」「集客力」>

「商都まちだ」として栄えてきた町田駅周辺の中心には常に商業の「にぎわい」があります。町田駅周辺開発においては、観る、聴く、触れるといった五感を直接刺激する体験や、それを誰かと一緒に楽しみ共有する「エンターテインメント」による新たな賑わいを創出することで、まちの集客力を高め、まち全体に多くの人を呼び込みます。

<駅から駅へ 駅からまちへ の便利な回遊導線>

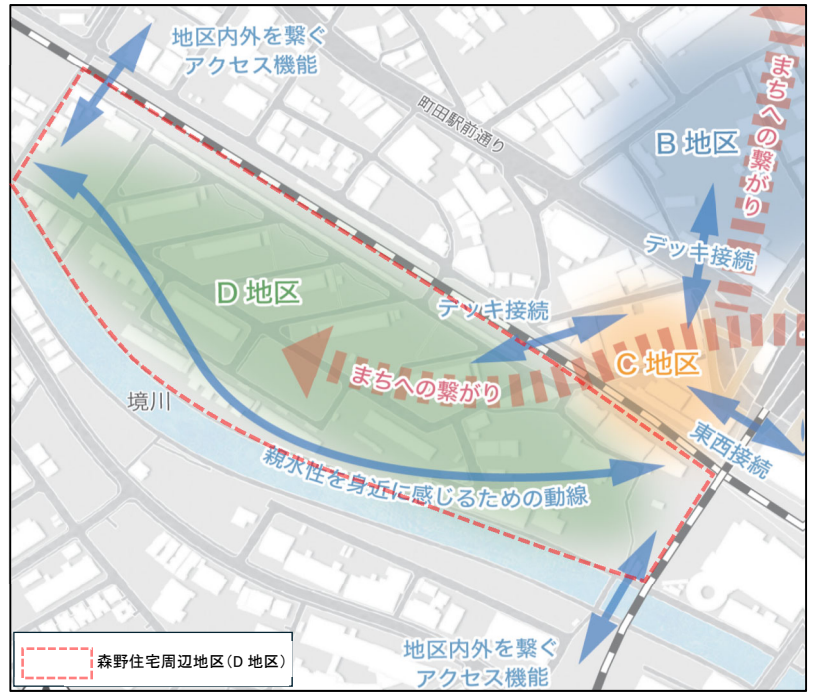
多摩都市モノレールという新たな都市骨格軸の整備により、町田駅周辺の人の流れが大きく変わります。これを契機と捉え、分散したバス乗降場の集約や駅を利用する人々の更なる利便性の向上を図るとともに、思わずまちなかに出歩きたくなる回遊導線を創出します。

<「職・住・楽」の近接による新たなライフスタイル>

コロナ禍を経て変化が加速した新しい働き方や、多様なライフスタイルに対応しながらも、訪れた人の時間や体験が特別なものになるよう、暮らしやすさや町田ならではのエンターテインメント、まちなかを楽しむ要素が近接した「職・住・楽」が一体となったまちを目指します。

【事業の内容】

町田駅周辺再整備のリーディングエリアとなる森野住宅周辺地区(D地区)のまちづくり検討を進め、方向性を示し、そのほかの駅周辺エリア(A地区、B地区、C地区)の開発に向けた気運を高めていきます。



①森野住宅周辺地区において、町田駅周辺における集客装置として「誰かと一緒に楽しむ・体験する」といった新たなにぎわいの機能検討を行うとともに、必要な地区内の現況測量や交通基盤等の調査・検討を進めます。

②民間再開発の動きに合わせて、交通ターミナルの集約化に向けた地権者勉強会の開催や事業性の検証等を行います。

③駅前再開発に合わせたペDESTリアンデッキの全面的な再整備に向けて、ペDESTリアンデッキにおける人流の調査を行うとともに、駅前再開発を踏まえた快適な乗換動線の確保やまちなかとの回遊性の向上、居心地の良い駅前空間づくりなどの実現に向けたペDESTリアンデッキの概略設計を行います。

【スケジュール】

	2024 年度	2025 年度	2026 年度
森野住宅周辺地区 (D地区)	①・森野住宅周辺地区まちづくり検討 ・現況測量 ・道路概略設計 ・横浜線アンダーパス検証	関係事業者等との協議・調整	
町田駅周辺地区再開発 (A、B、C地区)	町田駅周辺整備計画策定 6月策定	関係事業者等との協議・調整	
ペDESTリアンデッキ再整備	②町田駅周辺まちづくり検討	予備設計	
	③流動調査・概略設計		

【主な事業費】

①森野住宅周辺地区まちづくり検討委託料	10,000 千円
①森野住宅周辺地区現況測量委託料	14,934 千円
①森野住宅周辺地区道路概略設計委託料	11,515 千円
①JR 横浜線アンダーパス検証委託料	15,372 千円
②町田駅周辺まちづくり検討委託料	10,000 千円
③ペDESTリアンデッキ流動調査及び概略設計委託料	38,786 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課中心市街地開発推進室長 戸田	電話	851-7576
------	------------------------------	----	----------

件名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
87,576		12,500	17,483	51,000	0	6,593

【事業の背景・目的】

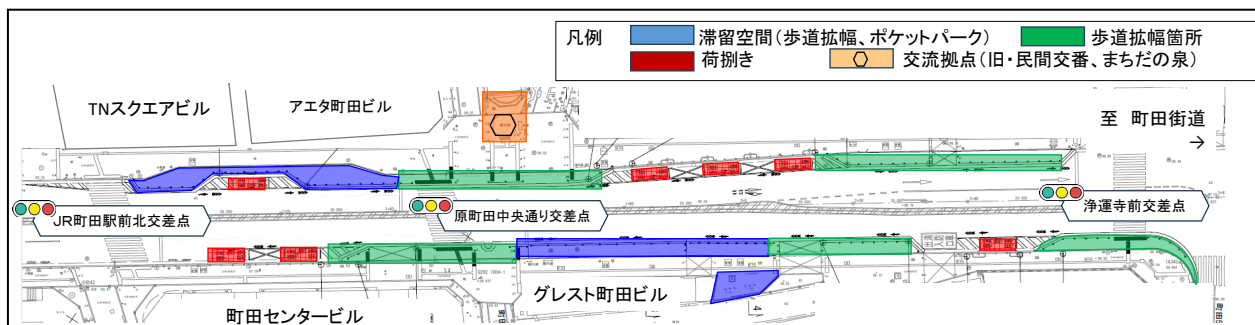
Ⅱ 部別予算概要説明書 216 ページ

市では、中心市街地が賑わいや交流にあふれ、何度でも訪れたい魅力的なエリアになることを目指し、2016年に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」を推進しています。このうち、「原町田大通り憩いと賑わいの空間を創造するプロジェクト」において、滞留空間と新たな交流拠点の整備により、都市再生推進法人と共に、憩いの空間、賑わいの空間として活用を行うことで、駅周辺や商店街の賑わい向上につなげます。

【事業の内容】

原町田大通り滞留空間等整備工事（JR 町田駅前北交差点から浄運寺交差点の区間）を進め、歩道の拡幅及び滞留空間、荷捌きスペースを2024年度中に整備します。

また、来街者の楽しみや滞在時間を延ばし、新たな交流を生み出す拠点を整備するため、市が旧民間交番及びまちだの泉を取り壊し、その跡地に、都市再生推進法人である（株）町田まちづくり公社が、案内機能、食事購買機能を備えた新たな交流拠点を建築します。まちだの泉跡地は、緑に囲まれた落ち着いた休憩スペースとして整備します。



【スケジュール】

実施主体	項目	2024年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
市	原町田大通り滞留空間等整備工事			歩道拡幅工事、滞留空間整備									● 滞留空間オープン	
	旧民間交番、まちだの泉解体・撤去工事	契約準備等		解体・撤去										
都市再生推進法人	新たな交流拠点整備工事	各種申請手続き			建築工事						準備	● 新たな交流拠点オープン		

【主な事業費】

整備工事費（原町田大通り滞留空間等整備工事）	72,400 千円
（2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 120,700 千円）	
解体工事費（旧民間交番・まちだの泉撤去工事）	8,589 千円
原町田大通り滞留空間利活用推進事業負担金	3,000 千円

【主な特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/2）	12,500 千円
原町田大通り滞留空間等整備事業債	51,000 千円

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 村上	電話	724-3296
------	-----------------	----	----------

件名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,000		0	0	0	0	10,000

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別予算概要説明書 246 ページ

小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸については、2016年4月に国土交通省の交通政策審議会の答申において、『東京圏の都市鉄道が目指すべき姿』を実現する上で意義のあるプロジェクト』とされました。本事業が実現すると、首都圏南西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

町田市及び相模原市をはじめとする関係者で構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」においては、現在、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向けた検討を行っています。

【事業の内容】

2023年度に引き続き、延伸の早期実現を目指して、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向け、関係機関との調整・協議を進めるとともに、相模原市と共同でハード面の調査検討や需要予測の試算等に必要の調査検討を実施します。

【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金 10,000 千円



問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 北川	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------